

仲間入りしました



増田 典男

奈良市は私の生まれ故郷です。結婚後約 50 年、大阪・天王寺区に住んでいます。今年 3 月シニア自然大学校を修了しました。

団塊の世代の行動は世の注目を浴びています。戦後の日本の変化をずっと見てきました。

裸電球や電熱器、蓄音機しかなかった時代からテレビや冷蔵庫など欧米並みの新しい電化製品、国産車、新幹線、高速道路、SNS、目まぐるしい進歩変革の中で暮らしてきました。

そんな世代が老後を迎えます。ゆとりある生活を楽しむはずがいざなってみると現実は厳しく、新たな人生観が望まれます。

奈良・人と自然の会、多くの仲間を迎えられ、また一歩前に進みたいと願っています。

辻 敏美

木津川市加茂町より入会しました辻です。よろしくお願ひします。何か新しい事にチャレンジしたいと思っていたところ、テニスで一緒にしている千載さんに、奈良・人と自然の会のことを教えてもらいました。活動内容を聞いたり会報誌を頂いていたので、どんな活動に参加できるか楽しみに待っていました。初日はしいたけの菌打ち、薪割り、どんぐり植え等経験させてもらいました。これからも楽しくいろんな経験をし、少しでもお役にたてればと思っています。自然や生き物大好き、文章や人前で話すのが苦手な私ですが、よろしくお願ひします。

坪井 都子

2019 年 1 月元旦、入会いたしました。

私は動物と歴史が好きで、18 年前大阪からこの奈良に引っ越してきました。私の元々の出身地は岡山市の郊外、田畑の経験がなく、土や自然に素朴な憧れと郷愁をもっていました。初めて「ならやま」に足を踏み入れた時、なぜか遠い故郷を感じたのです。奈良の自然環境と歴史的保全に努め

る「奈良・人と自然の会」には再生への力強いエネルギーを感じています。土に触れ自然に向き合っている種々の活動がいつも新鮮であるのに、懐かしさが込み上げてきます。知識も経験も乏しい私ですが、皆さまよろしくお願ひいたします。

平馬 一美

10 年か 20 年か前に電車でその駅を通り過ぎた時、「人恋うは 悲しきものと 平城山に~♪」駅名を見て口ずさんだとき「ならば 寧楽とも書く」友人が教えてくれた。

この 4 月から 木曜日にこの駅に降りることを決めた。あのときのあの駅 今このときのこの駅「平城山」心のやすらぎをもとめて。

大原 剛

今、手元に 2 年前の新聞記事の切り抜きがある。「里山保全、楽しみ 10 年」と題した本会の紹介文である。まだ現役で仕事をしていた当時、「暇になればこんな活動もいいなあ」と切り抜き、そのままになっていた。ご縁があったのか、退職後、シニア自然大学校の教育実習で本会の活動を体験する。そこで、田舎で日が暮れるまで野山で過ごした、子どもの頃の懐かしい思い出がよみがえる。子や孫たちにこんな奈良の自然環境を残していこうとする会員の皆さまとともに活動できることを楽しみにしています。これからの生き方そのままに、「明るく！楽しく！無理をせず！」

どうぞよろしくお願ひいたします。

古結 博邦

名前はコゲツ ヒロクニといいます。枚方市の北の端に 2 年前から住んでおり、それまでは静岡県藤枝市や島田市に長く居ました。今は 50m も歩くと直ぐに京都府に入る所で、近くに石清水八幡宮や三河合流の背割り堤(桜)があります。平城山までの約 25km は 20 万 km 超えのプリウスで 40 分掛けて通う予定です。

活動は、無理せずに楽しく長く続けられたら良いと思っていますので、皆さんよろしくお願ひします。